

小川道場支援会通信

多くの才能ある子どもたちに未来を。

2012

vol. 2



一道場長挨拶

紫陽花の花が綺麗な季節となりました。皆様益々のご健勝のことと存じます。

さて、今号は皆様に嬉しいお知らせを伝える事となりました。当支援会事務員の半谷静香（以下半谷）が今夏おこなわれるロンドンパラリンピックに出場する事が内定致しました。（正式決定は7月3日予定）

半谷が昨年の震災後に震災の被災者として当支援会事務員としてまた茅ヶ崎市民として受け入れられてから1年と3ヶ月が経ちました。慣れない

環境の中、よく頑張って代表の座を掴んだことと思います。これも彼女自身の努力はもちろんの事ですが、その彼女を陰で支えてくれた支援会会員の皆様のお力だと思えます。支援会としては筑波大学から預かり無事にパラリンピック出場まで支援していくと言う意味では1つのくぎりですが、出場する以上は支援会としても、そして彼女自身が支援会事務員としてここからが本当の意味での正念場だと思います。

指導する立場としてはやはり出場するからには世界一を目指して頑張らせたいですし、パラリンピックでの戦いを通して今も被災で苦しんでいる

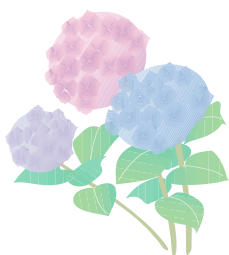
（半谷の）同郷の人達や視聴覚障害の世界に少しでも励ましのエールが送れるような戦いが出来る様に残り少ない限られた時間の中、精一杯精進させたいと思います。

なお、パラリンピック出場に際しての渡航費は全額国の負担ではなく、一部自己負担が強いられます。諸費用に關しまして皆様からの温かいお心遣いを頂ければとお願いを申し上げます。（詳細は小川道場HP支援会参照）

そして話は子供達に移りますが、小川道場支援会強化指定選手（月額免除）からは来る8月26日（日）鹿児島県で開催される第9回全国小学生学年別柔道大会に5年生女子が神奈川県予選を勝ち抜き代表となりました。（小川道場としては2人目）これも皆様方の支えがあつての事だと思えます。

最後になりますが、今後とも更なる皆様のご支援、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

それでは冊子の方をお楽しみください。



日本代表内定のご報告、御礼、挨拶、ロンドンパラリンピックへの意気込み。

半谷 静香選手



日の丸と共に表彰台の中央へ昇る

しとしと降る雨に紫陽花の花がますます美しく見える季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

この度、わたくし半谷静香は5月27日(日)講道館に於いて「ロンドンパラリンピック柔道競技日本代表選手選考大会」で女子-52kg級に出場し、勝ち星を挙げ代表選手に内定致しました。本来であれば皆様に直接ご報告するべきところではありますが、この場をお借りして皆様へのご報告とさせていただきます。また、常日頃ご指導して下さる小川先生・一杉先生、共に汗を流す子供達、応援して下さいる門下生の方々はじめご父兄の皆様、そして、ご支援下さる小川道場支援会の皆様のおかげと心から感謝申し上げます。

昨年の震災後に小川道場支援会事務員としてここ茅ヶ崎市に来てから1年と2ヶ月が過ぎました。これまでの練習の成果・成長した姿を見てもらうのはもちろんの事、予てから私の夢であるロンドンの大舞台に立つ為に絶対に勝たなければならない試合でした。

試合当日は視覚障害者柔道を始めて6年目にして初めての出来事に遭遇しました。先ず会場に入ると既に多くのテレビカメラが設置されていて、他には新聞記者達がたくさん詰めかけていました。その様な中、大会開会式終了後第1試合目から会場内は熱気と熱い声援で溢れかえり、今まで経験した事もない状況になりました。それとは別に私には、大久保支援会会長を始めとする小川先生、道場関係者や稽古仲間の子供達、そのご父兄さまにもここまで足を運んで頂いた事を思うと緊張が高まるばかりでした。

しかし、試合が進むにつれ次第に緊張から「はやく

試合をやりたい」「こんなに多くの人が見てくれているのだから自分らしいより良い柔道を見てもらわなければいけない」と、そういった気持ちに変化していきました。

第13試合目…とうとう私の順番が回って来ました。試合開始と共に私は出る限りの声を出しました。試合途中、私を応援する多くの声が聞こえました。それはとても大きく熱く、私の背中を後押ししてくれる様に感じました。その声援のお陰もあって順調に試合を運ぶ事が出来、今回の勝利に繋がったのだと確信しています。今回の試合では今までにない声援を受けた事、試合全体を通して人生で一番の緊張を味わった事も事実です。

今日の経験は2か月後の大舞台で必ず生きてくると思いますし、本番ではこれとは比較出来ない程の緊張を味わう事になると思いますが、大会当日まで残された時間の中で出来る限りの稽古・トレーニングを積んで自分と向き合い自己管理に努める事だと考えております。

最後になりますが、茅ヶ崎に来た当初は自分の事で手一杯な私でしたが、今は力強く「勝ちたい」と言えるのはここまで私を応援して下さいる支援会会員皆様のお気持ちが伝わって来るからだと思います。ロンドンの大舞台に上る時、皆様の応援がある事を胸に刻み自分らしい柔道をする。そして皆様と「日の丸と共に表彰台の中央へ“昇る”」という目標に一層強くこだわっていきたいと思います。ロンドンパラリンピックは8月29日が開会式となり、柔道競技女子-52kg級は翌日30日となっています。その日に最高のパフォーマンスが出来るよう頑張りますので今後とも変わらぬ御支援ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。



祝勝会



試合翌日に小川道場支援会で祝勝会を
神奈川県藤沢市にて開催致しました。



相馬副会長より花束贈呈



「乾杯」は小林支援会統括部長の
ご発声で会が始まりました。



朝日新聞湘南地区版
平成24年6月14日(木)に掲載



大久保会長が半谷へ色紙に即興で「龍」の字を書いてプレゼント…
「ロンドンで昇龍の如し」と願いを込めて渡しました。



タウンニュース平成24年6月8日(金)号に掲載
詳細は小川道場HP支援会活動報告



地元の湘南の会員の方々…大いに
盛り上がっています。

子供たちには
小川さんを目標にして、
頑張っていってほしい。

第2回目

インタビュー

小川道場支援会

相馬 秀幸 副会長

株式会社湘南総建 代表取締役

Message!

小川道場を応援していただいている支援会のメンバー紹介。第2回目は相馬秀幸副会長(51)をインタビューしました。茅ヶ崎市で「湘南総建」を経営される相馬副会長は、小川道場の創設当初からサポートしていただいております。柔道への思いも人一倍。これからの小川道場についても語っていただきました。



——相馬副会長が小川道場と関わるきっかけは？

相馬 最初は自分の取り引き先を通じてです。小川道場の解体を頼まれました。そこで支援会が発足するので「どうですか」という話になりました。自分是小川さんの大ファンだったので「ぜひやらせてください」と。

——小川道場長のファンはプロレス時代からですか？

相馬 いえ、その前の柔道からのファンでした。ずっと試合を見ていたので、好きでしたね。柔道自体が昔からずっと好きで、自

分らの頃はほとんどみんな柔道をやっていましたから。私はやっていませんでしたが、友人がやっていたので、試合を見に行ったりしていました。非常に面白いスポーツだったんで、それから小川さんのファンになりました。

——6年前の支援会発足時からメンバーで、「縁の下力持ち」としてさまざまな活動を応援していただいています。

相馬 もう、6年も経ちますか。早いですね。これからの柔道界を動かしていくのは、少年柔道にかかっていますから。現実には柔道をやる少年たちが減少しています。少年柔道の拡大と言う面からも、応援していきたいですね。

——現在の小川道場の活動をどう見られていますか？

相馬 小川さんがすごい方ですから。道場に行くと子供たちは礼儀正しく接してくれる。大会でも優勝できるようになってき

ましたし、頑張っていますね。ただ、もともとと大きな大会に出ていてほしいと思います。パラリンピックに出場する半谷さんに迫るような活躍を期待したいですね。

——相馬副会長ご自身は茅ヶ崎市で「湘南総建」を経営されています。

相馬 そうですね。事業内容は不動産関係、解体工事、産業廃棄物処理、建築関係となっています。

——小川道場のメンバーで、プロレスラーとして活動する澤田敦士選手の支援もされていますね。

相馬 プロレスにも興味あります。関東で澤田選手の試合がある時はほとんど応援に行っています。澤田選手もファンがものすごく増えました。先日、会場に行きましたが、澤田選手のTシャツを着て応援している方がたくさんいました。試合ではトーナメントでも優勝しましたから、出世していますよ。

——澤田選手のタイツには「湘南総建」のロゴが入っています。

相馬 3試合前からあのタイツをプレゼントしました。ガウンも贈呈しています。今後も澤田選手には頑張っていてほしいですね。

——今後の支援会の活動について、お聞かせください。

相馬 今年はオリンピックがありますので、柔道はどんどん盛り上がっていくでしょう。ちょうどいい時期です。支援会としては、金銭面などすべてで応援していきたい。支援会のメンバーもさらに増やして、もともとと大きくしていきたいですね。子供たちを応援するためには、まだまだ足りない。子供たちには小川さんを目標にして、頑張っていてほしいと思います。



会社の壁には小川道場の看板を設置して頂いております。



道場長の母校、明治大学柔道部が小川道場で合宿を張った際に2日間に渡り夕食のご招待をして頂きました。(写真中央)



半谷の祝勝会では花束の贈呈役を務めて頂きました。

平成24年度 第9回 全国小学生学年別 柔道大会県予選会兼ジュニア強化選手選考会

4年生～6年生の各学年男女2階級で競われる第9回全国小学生学年別柔道大会神奈川県予選。
少年柔道に於いては非常にレベルの高い神奈川県にて今年は優勝者が2名。準優勝者が3名。第3位が2名。第5位が2名と好成績を収めました。
5年生女子-40kg級に於いては瀬戸亜香音が鹿児島県で行われる全国大会に神奈川県代表の座を射止めました。(なお、小川道場から全国大会出場は4年ぶり2人目。)



入賞者全員で記念撮影!



神奈川県から2名が優勝! 右から5年生女子-40kg級・瀬戸亜香音(セト アカネ)、4年生女子+40kg級・平野友萌(ヒラノ ユメ)・小川道場から3人目の神奈川県チャンピオン。



惜しくも準優勝の3人。右から5年生女子-40kg級・谷朱音(タニ アカネ)、6年生男子-50kg級平石悠樹(ヒライシ ユウキ)、5年生男子-45kg級・小川剛生(オガワ ゴウキ)



第3位の2人。右から4年生男子+45kg級・関野恵太郎(セキノ ケイタロウ)、5年生男子-45kg級・岡崎悟(オカザキ サトル)



第5位の2人。右から5年生男子+45kg級・八高新之助(ヤコウ シンノスケ)同級・佐藤涼火(サトウ リョウカ)

小川道場支援会(サポーター・カンパニー)

小川道場支援会 強化指定選手の紹介

小川道場から各大会に出場し頑張っている子供達に支援会から月謝と大会遠征費のサポート(免除)を受けれるシステム(任意)です。

対象者は小学生4年生以上は前頁大会にて神奈川県柔道連盟より選出される県Jr強化選手。低学年は常時各大会で小川道場代表で活躍している選手。

昨年度までは4年生以上で県Jr選手が対象でしたが、昨年9月より大久保小川道場支援会会長に代わり支援会組織が大幅に大きくなりました。

支援会会長のご提案で低学年まで拡充することとなりました。支援会としては、高校生・大学生それ以上の分野において柔道で将来を頑張っていくと目的を持つ子供達にサポートするシステムです。高校生以上になると学校にかかる費用の負担が見込まれます。その手助けが少しでもお手伝い出来ればという目的で設立しました。



夢はオリンピックで「金」!!

強化指定 選手紹介

Strengthening
specification
player introduction

6年生



平石 悠樹・ヒライシ ユウキ

平成24年度第9回全国小学生学年別柔道大会神奈川県大会男子-50kg級第2位

5年生



小川 剛生・オガワ ゴウキ

平成24年度第9回全国小学生学年別柔道大会神奈川県大会男子-45kg級第2位

5年生



瀬戸 亜香音・セト アカネ

平成24年度第9回全国小学生学年別柔道大会神奈川県大会女子-40kg級優勝

5年生



谷 朱音・タニ アカネ

平成24年度第9回全国小学生学年別柔道大会神奈川県大会女子-40kg級第2位

5年生



岡崎 悟・オカザキ サトル

平成24年度第9回全国小学生学年別柔道大会神奈川県大会男子-45kg級第3位

5年生



佐藤 涼火・サトウ リョウカ

平成24年度第9回全国小学生学年別柔道大会神奈川県大会男子+45kg級第5位

5年生



八高 新之助・ヤコウ シンノスケ

平成24年度第9回全国小学生学年別柔道大会神奈川県大会男子+45kg級第5位

4年生



平野 友萌・ヒラノ ユメ

平成24年度第9回全国小学生学年別柔道大会神奈川県大会女子-40kg級優勝

4年生



関野 恵太郎・セキノ ケイタロウ

平成24年度第9回全国小学生学年別柔道大会神奈川県大会男子+45kg級第3位

3年生



佐藤 琉綺・サトウ リウケン

平成23年度第16回醍醐敏郎杯全国錬成大会優勝

3年生



岡 健・オカ ケン

平成23年度第16回醍醐敏郎杯全国錬成大会出場

3年生



玉代勢 将斗・タマヨセ ユキト

平成22年度第40回瑞浪少年柔道大会団体戦優勝

2年生



猪熊 天・イノクマ テン

平成23年度第16回醍醐敏郎杯全国錬成大会優勝

2年生



佐藤 彩葉・サトウ イロハ

平成23年度第16回醍醐敏郎杯全国錬成大会出場

小川道場支援会募集中

株式会社 今井出川建設/株式会社 エバーグリーンホーム/株式会社 湘南マツダ

株式会社 木村工業/ウスイホーム 株式会社/株式会社 嘉穂/上野住設 株式会社/株式会社 サトウ/有限会社 中沢タイル工業

ゴミ・不要品でお困りなら当社へ アパートからオフィスまで迅速回収いたします。

不要品

解体工事

粗大ゴミ

情報書類処分

ゴミ屋敷片付け

事業所、事務所、倉庫の廃棄物
も回収します

サイディング工事・
セルロース断熱工事・
解体工事なら
お任せください。



Applegate Insulation®

アップルゲートセルロース断熱

アップルゲートジャパン施工認定会社

神奈川県知事免許(1)第27221号 神奈川県知事許可(般-18)第65479号
外壁工事 断熱工事 解体工事 産業廃棄物処理

株式会社 **湘南総建**

〒253-0087 茅ヶ崎市下町屋1-5-12 TEL:0467-38-7878 FAX:0467-38-7877
<http://www.shonan-souken.co.jp>



お客様の笑顔の追求こそ、私たちの使命。

時代の変遷の中で創造と挑戦を繰り返して、
お客様の笑顔のために『誠実』な
企業であり続けたい。



●印刷全般 ●販促広告専門印刷 ●販促全般のサポート ●広告全般のプランニング・デジタルデザイン ●オリジナルCD-ROM制作 ●オリジナルホームページ制作・メール配信 ●会員管理システムの企画及び販売 ●総合広告代理業



SONIQUE
リニク株式会社 <http://www.sonique.co.jp/>

本 社
〒373-0019 群馬県太田市吉沢町1035-5
TEL.0276-37-8800(代) FAX.0276-37-8811

東京支店
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂一丁目20番8号 寿パークビル9F
TEL.03-5456-1019(代) FAX.03-5456-1024

さいたま営業所
〒339-0056 埼玉県さいたま市岩槻区加倉一丁目31番63 日本システムハウス(有)2F
TEL.048-749-8558 FAX.048-749-8559

宇都宮営業所
〒320-0847 栃木県宇都宮市薄谷町19-18 福井ビル1F
TEL.028-610-9501 FAX.028-610-9502